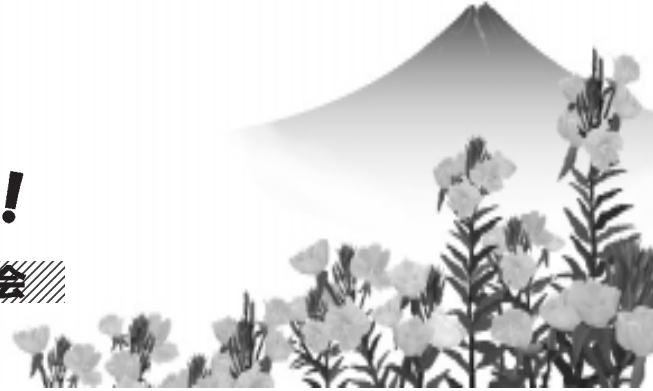


新しい年もご一緒に 平和な社会を めざしましょう!



茨城県平和委員会



2018年に向けての発言

百里の平和運動と歴史を受け継ぐ世代に

～ 茨城農民連・入江 赳史 ～

2017年、私には激動の年になりました。茨城農民連に入って百里初午祭りに初めて参加、夏から秋にかけては4回、百里基地正門前で抗議行動に参加。(日米合同訓練、観閲式、F-4出火事故、オスプレイ飛来)百里平和公園の管理作業にも1回参加することが出来ました。

茨城県民で、百里の存在、歴史を知る人間はどれだけいるでしょう。知れば知るほど、この歴史は知られていないと感じます。私自身、百里基地の曲がった滑走路を知ったのが一昨年でした。以前茨城新聞では「私の街の誇り、茨城空港」というような高校生のインタビューを見ましたし、今年のハロウィンでは茨城空港でイベントが行われて、小さな子どもがお化けの仮装をしていました。併設している百里基地の過去を知れば、考えられません。昔の方々がこの現状を知ったら、どのような気持ちになるのでしょうか。

「米軍は日本を守ってくれる」「自衛隊は平和のための組織」「北朝

鮮が危ない」、国内で世間一般の声として聞かれる意見だと思います。では米軍機が事故を起こした際の対応は、果たして信頼して良いものでしょうか。自衛隊機は、日本人の上には墜落しないのでしょうか。地域住民の生活を妨げないのでしょうか。本当に軍勢力強化で北朝鮮問題は解決するのか、それしか解決策はないのか。

「9条で平和を守れるのか」と言われれば、私たちもその意見には向き合っていかなければならないでしょう。しかし、これまでの百里の歴史、百里の現状は県民として、知らなくて良いものではありません。無関心でいれば、自衛隊が米軍とともに戦争に加わり、茨城(百里)が再び被害者、そして加害者になります。

広く知られていない、百里の歴史と現状を、これからの茨城を担っていく世代として、さらに学んで伝えていきたいと思えます。そして百里を、もっとたくさんの若者が集う場所にしていきます。

「安倍9条改憲の国会発議を断固阻止しよう！」

～ 水戸西平和の会・小川 弘二 ～

2018年は、日本国憲法第9条が最大の危機に直面するといえます。

自民党改憲推進本部の議論では、2017年12月中に自民党の改憲項目を決め、新年頭初に改憲諸政党との調整を行い、1月末からの通常国会で衆参両院で憲法審査会を開催し、6月の会期末には国会発議を実現しようと画策しています。その背景には、2019年春には天皇代替わりが予定され、オリンピックの前年など政治騒

動を回避したいという思惑があります。国会発議がなされるという60～180日の間で国民投票へとなり、激しい宣伝戦が予想されます。自民党は、政党助成金ういをはじめ、財界、日本会議等改憲団体から莫大な寄附を集めて、テレビコマーシャル等の買い占め、全国紙見聞き広告などで国民を洗脳しようとするでしょう。従って、安倍9条改憲の国会発議を何としても阻止しなければなりません。「老兵は死なず」を合言葉に「3000万署名」や国会周辺行動に積極的に参加し、がんばりましょう。

かすみがうら平和の会を準備中

来年4月発足を目指して、今会員を募集しています。かすみがうら市在住で土浦平和の会に籍を置いている方は7名いますが、この方々を中心に、独立を目指しています。3年前から県平和委員会の木村事務局長から「全行政区に平和運動組織を」の方針の具体化を図ってほしいと言われていたこと、隣接する石岡市や土浦市と比べて、当市の平和行政が遅れていることを実感していたことから決意しました。

当市は、2013年3月の前市長時代に「非核脱原発平和都市宣言」を採択しながら、現市長は「東海第二原発再稼働の是非は国や県が判断するもの」との答弁を繰り返すばかり、また、隣接2市が行っている中学生の平和使節派遣や戦争原爆展などの企画も全くありません。このような状況を変えるためには運動体が必要と判断したものです。議員活動や既に存在する9条の会や新婦人のみなさんとも連携して、戦争(核兵器)や原発を認めず、平和で民主的で豊かなかすみがうら市・日本・世界をめざす一助となれるよう、努めていきます。
(土浦平和の会・石井 明)

歓迎！新入会員のみなさんです。

よろしくお願ひします。

- ** * さん (土浦市)
- ** ** さん (つくば市)
- ** ** さん (水戸市)
- ** ** さん (賛助会員) (水戸市)

*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2017年12月15日・2018年1月5日 合併号
2157号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 796 合併号
2017.12/25-2018.1/5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

土浦市 「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」 採択県内で初めて！

土浦平和委員会が提起して！



12月土浦市議会で「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」の陳情が可決されました。茨城県内で初めてです。土浦平和委員会が提起し、土浦市で活動する平和委員会を含む地域8団体で結成する「憲法を守り生かす土浦協同センター」が共同で提出したものです。土浦市では「ヒバクシャ国際署名」や「戦争法廃止署名」など、さまざまな平和運動を「憲法を守り生かす土浦協同センター」を結成して話し合いを深め、共同運動として日常的に取り組んでいます。

趣旨説明では「7月7日、人類史上初めて核兵器を違法化する禁止条約が国連会議で122ヶ国の賛成により可決されたこと」、その背景に「広島・長崎のヒバクシャを中心にして国内外の長年の活動があったこと」を指摘。その中で「唯一の被爆国であり日本の政府が交渉に参加しない事がヒバクシャや世界の人々に大きな失望を与えている」としています。その上で日本政府が速やかに国会で批准し、条約に正式に参加することを求めて、地方自治法99条に基づ

いて、政府に対して意見書の提出を求めています。

本会議 賛成18反対6で採択される！

11月29日に陳情書を提出。12月14日の総務委員会で趣旨説明が行われ、賛成5反対1で可決。12月20日本会議で、賛成18反対6で可決されました。

傍聴にも多くの方々が参加し、審議を見守りました。傍聴者の熱い視線の中で審議する議員も積極的になったようです。ある政党の議員からは「核兵器廃絶はいいのだけれど、批准については政府もやっているから」という反対の意見も出されました。しかし年配の元気のいい議員が「これは原発とは違う。これは絶対に通さなくてはいいかん」等と発言。この一声が決定的になり、圧倒的多数で採択されました。

傍聴に参加した人々は喜びに包まれました。

(土浦平和委員会 近藤常任理事報告)

安倍9条改憲NO！3000万署名キックオフ集会開催！

12月12日（火） 101人参加 水野県平和委員会代表理事が決意表明



「安倍改憲NO！3000万署名キックオフ集会」が、12月12日（火）、水戸市・国際交流センターで開催されました。会場は80人の容量でしたが、立ち見参加も出る101人が駆けつけ、熱気にあふれました。

「九条の会茨城県連絡会」「茨城県平和委員会」「茨城有権者の会」が呼びかけ、集会当日には30団体・個人が参加を表明していました。

茨大名誉教授である田村代表の経過報告・情勢を含めた代表挨拶のあと、記念講演では池田佳代子さん（ドイツ文学者・児童文学者・平和運動家・「世界がもし100人の村だったら」著者）が「市民の力が全体主義を阻止する」という演題で講演しました。

池田さんはハンナアーレントの言葉を引き、全体主義に屈しないための3つの方法として、「自発性を手放さない」「人を信じる」「人とつながる」ことをあげ、自分の取り組んできた運動が得た貴重な経験を踏まえた豊富な内容を話してくれました。

休憩後、結成趣意書の提案と決議が行なわれ、地域から4団体の報告を受け、市民連合共同代表の川田共同代表と平和委員会の水野映一郎代表理事が決意表明を行いました。

水野代表理事は、茨城県の平和運動を百里基地反対運動から説き起こし、平和委員会の取り組みを紹介し、政治的立場の違いや思想信条を超えて「アベ9条改憲反対」の一点で3000万署名の共同運動を広げるため奮闘することを表明しました。

■茨城県内で70万筆集約を確認！ 県共通の3000万署名チラシ配布も！

今後の活動提案を県平和委員会事務局長が行い、①茨城県内で70万筆を目標とする ②事務所を開設する ③毎月1回・県内各地で学習会・講演会を開催する。事務局は講師を派遣する。④署名の実績を毎月集約する。⑤全県共通の3000万署名チラシを作成する。などを提起し、拍手で確認されました。

新聞意見広告

⇒ 今年の1割増しを目標に取り組む！
事務局でも各地域でも集計中！ 最後の追い込み！

12月8日に掲載された新聞意見広告の賛同者は、事務局で集計中です。各平和の会・平和委員会でも今年の1割増しを超えることをめざして最後の追い込みと集計中です。

■1402口（昨年） ⇒ 1553口（今年度の目標1割増し） ⇒ （現）1437口

今年度は、昨年度の取り組みと各平和の会・平和委員会の活動を考え、1割増しの目標を要請しました。各地で大変な中で取り組まれました。現在は目標達成に大きく近づいている状況です。行けば必ず協力していただける方などに漏れないよう、最後まできめ細かに対応することが求められています。

■団体は新たに12団体が賛同！！ 一方で9団体が「遠慮」と・・・！

団体は昨年までお世話になった団体のうち、9団体から「団体が解散した」「今回は遠慮したい」という連絡がありました。その一方で新たに12団体の参加があり、実質3団体の増（12/18現）ありました。総計120団体余になりそうです。

■賛同者への報告は1月中に配布予定。賛同者名の報告は事務局報告は年末までに！

例年作成している「賛同者名一覧+掲載内容」は、1月の早いうちに送付します。各平和の会・平和委員会は、賛同者名一覧を年内に事務局に送付して下さい。

ヒバクシャ国際署名

県内自治体首長「肩書き署名」

残りは

11自治体！

ヒバクシャ国際署名の取り組みは県内各地で進められています。常陸大宮市では美和・緒川平和の会も参加し地域の平和団体が共同して定期的な取り組みも進んでいます。取手や石岡、阿見などでも共同した取り組みが続けられています。

■肩書き署名「未署名」の長は8市3町の11自治体。早期に要請しよう！

12月8日現在、県知事もしている肩書きに未署名の茨城県下の自治体首長は、「常総市」「笠間市」「取手市」「つくば市」「ひたちなか市」「桜川市」「行方市」「鉾田市」「大子町」「阿見町」「八千代町」、8市3町で合計「11自治体」です。